

事業番号 2021 - 総務 - 20 - 0104

令和3年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	放送ネットワーク整備支援事業			担当部局庁	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地上放送課 地域放送推進室		課長 堀内 隆広 室長 廣瀬 照隆		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第60号及び第63号			関係する 計画、通知等	国土強靱化基本計画(平成30年12月14日閣議決定)、 国土強靱化年次計画2021(令和3年6月17日国土強靱化推 進本部決定)、 世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基 本計画(令和2年7月17日閣議決定)				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	被災情報や避難情報など、国民の生命・財産の確保に不可欠な情報を確実に提供するため、災害発生時に地域において重要な情報伝達手段となる放送 ネットワークの強靱化を実現する。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	放送網の遮断の回避等といった防災上の観点から、以下の費用の一部を補助 ①放送局の予備送信設備、災害対策補完送信所、緊急地震速報設備等の整備費用(地上基幹放送ネットワーク整備事業) ②ケーブルテレビ幹線の2ルート化等の整備費用(地域ケーブルテレビネットワーク整備事業) ③コミュニティ放送局の自動読上装置等設備(災害情報等放送システム整備事業)、ケーブルテレビ事業者の広帯域無線システム(災害情報等代替伝送シ ステム整備事業) (地方公共団体:補助率1/2 第三セクター、地上基幹放送事業者等:補助率1/3、コミュニティ放送事業者(③に限る): 2/3)								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	2,190	192	283	487	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 192	▲ 283	▲ 487	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	2,328	282	176	720	215		
	執行額	1,935	221	70					
	執行率(%)	83%	78%	40%					
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	586%	59%	18%					
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	放送ネットワーク整備支援 事業費補助金	232	214	令和4年度に補助事業の一部が廃止されたことに伴い、箇所数が前 年度に対して減少すること等による減額。					
	職員旅費	0.7	0.3						
	諸謝金	0.4	0.4						
	委員等旅費	0.2	0						
	計	233	215						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	災害発生時に地域におい て重要な情報伝達手段とな るケーブルテレビネットワー クについて、その2ルート化 等を推進。	2ルート化等によってケーブ ルテレビネットワークが強 化された世帯数	成果実績	世帯	3,290	9,280	13,862	-	-
			目標値	世帯	6,032	20,258	8,796	-	-
			達成度	%	55	46	162	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	国土強靱化基本計画(平成30年12月14日閣議決定)、 国土強靱化年次計画2021(令和3年6月17日国土強靱化推進本部決定)								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	補助事業の完了件数	活動実績	件	33	16	7	-	-	
		当初見込み	件	53	23	31	32	19	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
災害発生時に地域において重要な情報伝達手段となるケーブルテレビネットワークについて、その2ルート化等の整備済箇所数	活動実績	箇所		2	3	3	-		
	当初見込み	箇所		3	2	4	4	5	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	補助金執行額/補助事業の完了件数	単位当たりコスト					百万円	59	14
		計算式	百万円/件数	1935/33	221/16	70/7	720/32		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	V. 情報通信(ICT政策)							
	施策	3. 放送分野における利用環境の整備							
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	
		災害発生時に地域において重要な情報伝達手段となるケーブルテレビネットワークについて、その2ルート化等の整備済箇所数						実績値	箇所
			目標値	箇所	4	2	4	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
被災情報や避難情報など、国民の生命・財産の確保に不可欠な情報を確実に提供するため、災害発生時に地域において重要な情報伝達手段となる放送ネットワークの強靱化を実現する。									
事業所管部局による点検・改善									
	項目			評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	深刻な災害が頻発していることや、南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模災害発生の可能性が指摘されていることを踏まえ、放送ネットワークの強靱化を推進し、住民が地方公共団体等から災害関連情報等を確実に入手できるような環境を構築することは、喫緊の課題である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	災害時における国民への情報提供を確実なものとする公共性・公益性の観点から、国として、補助を行うものである。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	国民生活の安心・安全を確保するための事業であり、優先度は高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無	事業の提案公募を実施した後、外部有識者による評価会を開催する等しており、支出先の選定は妥当である。				
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	交付要綱に基づき補助対象者も応分の事業費を負担しており、妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業規模及び条件に合わせ最適な設備を導入しており、妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	補助金の交付は実施主体に直接交付されるものであり、中間段階での不合理な支出はない。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	交付決定に当たり、外部有識者による評価会を開催する等、費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているかを適切に審査しており、問題ない。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	予算要求に当たり要望調査を行ったが、事業者の経営状況の変化による事業実施の見送り等があり発生したものであり、妥当である。				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	交付決定時には予見できなかった地権者との調整等、外部的要因により繰り越したものであり、妥当である。					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	交付決定に当たり、外部有識者による評価会を開催する等、コスト削減の観点から真に必要な設備を整備しているかを適切に審査しており、問題ない。					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業の実施により、自然災害の被害を受けやすい場所に立地するラジオ親局の災害対策がなされるとともに、ケーブルテレビ網の対災害性が向上されており、成果目標の達成に寄与している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業規模及び条件に合わせ最適な手段・方法により事業の実施に当たっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績と当初見込みとの差異については、予算要求に当たり要望調査を行ったが、事業者の経営状況の変化による事業実施の見送り等があり発生したものであり、妥当である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業により放送設備の災害対策がなされ、災害時における国民に対する放送による迅速かつ適切な情報提供手段が確保されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点検・改善結果	点検結果	本補助金は、国民が自治体や民間放送事業者から災害関連情報等を確実に入手できるような情報通信環境を構築することに活用されており、引き続きその公共的な責務を果たすため、災害発生時に地域において重要な情報伝達手段となる放送ネットワークの強靱化を実現していく必要がある。	
	改善の方向性	引き続き、交付先決定の際には公募を行い、外部有識者による評価会を実施するなどして、事業の効果や効率性に留意し執行を行うよう努める。	
外部有識者の所見			
アウトカムとアウトプット指標が同じであることに(他の事業との比較で)違和感を感じる。ロジック・モデルを意識した指標の形成はできないだろうか。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業内容の一部改善の	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	アウトカムの指標を改善した。執行にあたっては、引き続き、交付先決定の際には公募を行い、外部有識者による評価会を実施するなどして、事業の効果や効率性に留意し執行を行うよう努める。		
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	-		
平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	0096	新27-0021	
平成27年度	0088	0103	
平成28年度	0086	新29-0011	
平成29年度	0100	新29-0010	
平成30年度	0091		
令和元年度	総務省 - 0101		
令和2年度	総務省 - 0105		

